

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	社会福祉				
担当者氏名	昇 慶一、阪本 博寿				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

社会福祉の理念、理論と方法を学ぶ。社会福祉の歴史を学び、福祉の価値を考える。さらに社会福祉の機関と各種施設、社会福祉の援助と方法を学ぶ。保育士が社会的な役割を果たすうえで「社会福祉」を学ぶことは、大きな意義を持っているが、学生にとって馴染みにくい科目であることも事実である。身近な事例を検討することで、興味を引き理解を深められるようにしていく。時事的な問題を取り上げ、グループワークも行う。

《授業の到達目標》

個人が社会生活をしていく上で生じる障がいや困難に対し、解決あるいは緩和していくための援助や資源を学び理解する。
テーマ「今日の社会福祉を取り巻く環境」

《成績評価の方法》

平常点(受講態度・発表・グループ作業の協働態度) 30%、
提出物(レポート) 30%、
定期テスト 40%で、総合的に評価する。

《テキスト》

吉田眞理著『社会福祉』青鞥社

《参考図書》

山縣文治、柏女霊峰 編集委員代表『社会福祉用語辞典』ミネルヴァ書房
資料を適宜配布する。

《授業時間外学習》

普段から、新聞などで私たちが生活している日本社会の現状について知っておく。
配布するプリントの整理をして、理解しておく。

《備考》

講義中に課す提出物は、提出期限を厳守のこと。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	社会福祉の基盤(社会福祉の歴史を学び、福祉の価値について考える)
2	社会福祉の理念と概念	福祉とは何か(ノーマライゼーションとは、社会参画、自立とは)
3	社会福祉の歴史の変遷	社会福祉の取り組みは貧困問題から(事例を使いロールプレーを行う)
4	社会福祉と児童家庭福祉	関係機関を知る(グループワークで機関役割を演じ体験する)
5	社会福祉の制度と実施体制	福祉を支える法律と財政
6	社会保険と生活	介護保険、医療保険と年金保険、雇用保険と労災保険を学ぶ
7	社会福祉の専門職・実践者	保育士、社会福祉士などの専門性を知り、倫理観を学ぶ
8	対象者の権利擁護の仕組み	福祉サービスの質と評価について学ぶ
9	社会福祉における相談援助	相談援助の意義と原則
10	社会福祉における相談援助	相談援助の方法と技術(ロールプレーでケースワークの過程を体験する)
11	社会福祉の動向と課題	少子社会への対応
12	社会福祉の動向と課題	高齢化社会への対応
13	社会福祉の動向と課題	在宅福祉・地域福祉の推進
14	実施主体とネットワーク	関係機関の連携とネットワーク 専門職の連携
15	まとめ	これからの社会福祉の課題について